

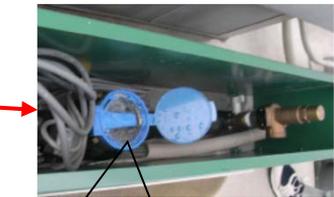
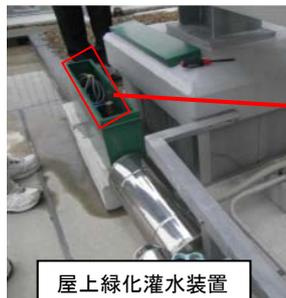
水道管の凍結にご注意ください。

冬になり気温が氷点下になると、水道管が凍結して破裂したり水が出なくなったりするなど、水道管のトラブルが発生することがあります。

そうなる前に、早めの「水道管の凍結対策」を行いましょう。

1 凍りやすい水道管(給水管)

- 屋外に露出している水道管。
- 風当たりが強く、日かげにある水道管。
- 水道管が北側にあるところ。



2 水道管の凍結を防ぐには

- 露出した水道管に保温チューブ、布などを巻いてその上からビニール（布などに水が浸みると保温効果がありません）などで防水してください。
※保温チューブはホームセンターなどで売っています。
- 戸舎などの貯水槽先の露出した水道管にも保温チューブなどを施してください。
- 少量の水を流したままにします。（水がもったいないのでバケツ等で受けて次の日に再利用してください。）
- 屋外に設置されている湯沸器には水抜栓が付いていますので、メーカーの取扱説明書にしたがって水抜きを行ってください。

3 水道管が凍ってしまったら

水道管が凍って水がでないときは自然に溶けるのを待つか、タオルをかぶせてその上からゆっくりとぬるま湯をかけて溶かします。急に熱い湯をかけると給水管や蛇口が破裂しますので注意しましょう。



4 水道管が破裂してしまったら

水道管が破裂した場合は、近くの止水栓又はメーターボックス内の止水栓を締め、水道専門業者に連絡します。

5 漏水のチェック

全ての蛇口を閉めた（水を使っていない）状態で、水道メーターを確認してください。メーターが回っていたら漏水です。漏水しているとわかったときは、すぐに修理が必要です。

水道専門業者に連絡してください。

